

Pioneer

レベルインジケータ-CDプレーヤー

CDS-P555

取扱説明書

carrozzeria

目次 4ページ

安全のために必ずお守りください

絵表示について

この取扱説明書、取付説明書および製品への表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

表示内容を無視して、誤った使いかたをしたときにおよぼす危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄は、「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。



注意

この表示の欄は、「人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容」を示しています。

お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。



注意

このような絵表示は、注意 (警告を含む) しなければならない内容です。



禁止

このような絵表示は、禁止 (やってはいけないこと) の内容です。



必ず行う

このような絵表示は、必ず行っていただく強制の内容です。

警告

[異常時の処置]

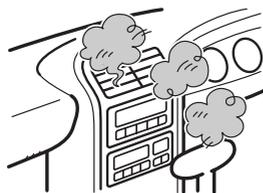
故障のまま使用しない



禁止

画面が映らない、音が出ないなどの故障の状態で使用しないでください。必ずお買い上げの販売店にご相談ください。そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。

異常のまま使用しない



禁止

万一、煙が出る・変なにおいがする・内部に異物が入った・水がかかったなど異常が起きましたら、ただちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店にご相談ください。そのままご使用になると事故・火災・感電の原因となります。

ヒューズは規定容量のヒューズを使用する



必ず行う

ヒューズを交換するときは、必ず表示された規定容量のヒューズをご使用ください。規定容量以上のヒューズを使用すると、火災の原因となります。

目次

はじめに

はじめに

- | | | |
|---|--------------------------|---|
| 1 | 本機の各部のなまえ | 6 |
| 2 | 本機と組み合わせる
メインユニットについて | 6 |
| 3 | 各部のなまえ | 7 |

ここだけで

ここだけ読めばすぐ使えます

- | | | |
|---|--|----|
| 1 | CDをセットする
CDをセットする
CDを取り出す | 8 |
| 2 | CDのふだんの操作
曲を選ぶ
早送り/早戻しをする
音量を調節する | 10 |

CDを聞く

CDを聞く

- | | | |
|---|------------------|----|
| 1 | モードの切り換えかた | 12 |
| 2 | 同じ曲を繰り返し聞く | 13 |
| 3 | いつもと違う曲順で聞く | 13 |
| 4 | 聞きたい曲をさがす | 14 |
| 5 | CD再生を一時停止する | 15 |
| 6 | CDのタイトルを記憶させる | 16 |
| 7 | CDのタイトルを表示させる | 18 |
| 8 | CD再生の一時停止を直接操作する | 18 |

C O N T E N T S

ここだけ読めば
すぐ使えます

すぐに使いたいときは、
ここをお読みください。

その他

その他の機能と付録

1	本機の表示を切り換える	20
2	本機のリセットについて	21
3	CDの正しい使いかた	22
4	故障かな？と思ったら	24
5	こんなメッセージが表示されたら	25
6	保証書とアフターサービス	26
7	おもな仕様	27

はじめに

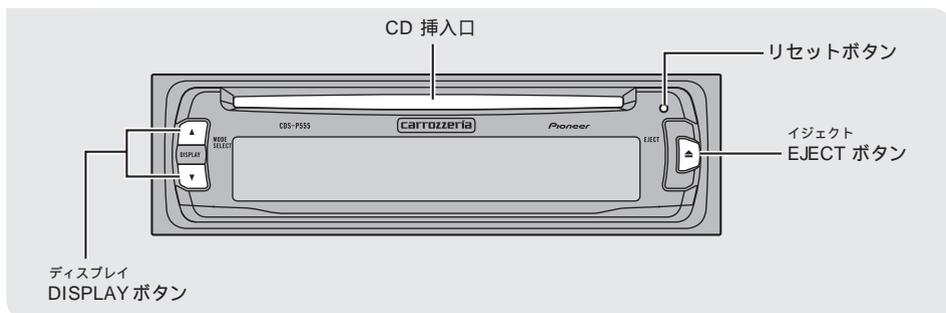
CDを聞く

その他の機能と付録

はじめに

1

本機の各部のなまえ



はじめに

2

本機と組み合わせるメインユニットについて

本機は、別売のメインユニットと組み合わせて使用します。
CDの操作は、本機と組み合わせたメインユニット側で行います。

「MEH-P555」との組み合わせについて

本書では、メインユニットとして「MEH-P555」の例で操作説明を行っています。

「MEH-P555」以外のメインユニットとの組み合わせについて

メインユニット ①：FUNCTION ボタンでファンクションモードを切り換えて操作するメインユニット

例：MEH-P777/MEH-P9900/MEH-P7700/MEH-P5500

メインユニット ②：FUNCTION ボタン (ファンクションモード) がないメインユニット

例：KEH-P555

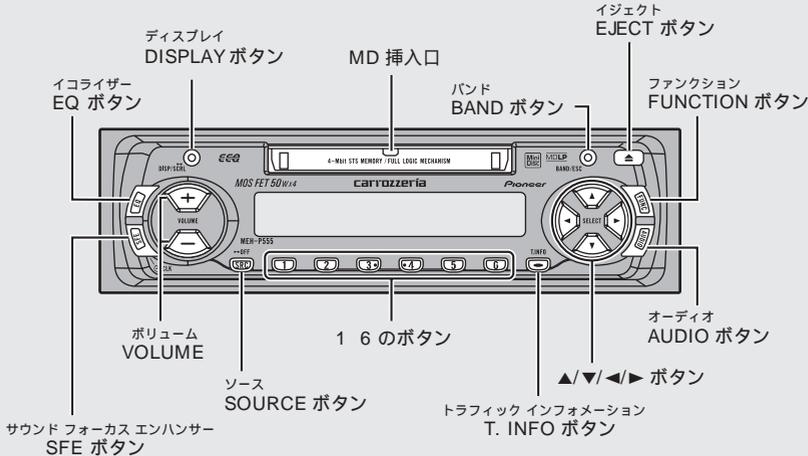
メインユニット①と組み合わせた場合は、「メインユニットのボタン名称」(☞はじめに④)を参照して「MEH-P555」と対応しているボタンで操作を行ってください。

メインユニット②と組み合わせた場合は、各操作説明の「メインユニット②(例：KEH-P555)の場合」をご覧ください。

メインユニットの取扱説明書にCDの操作説明が記載されている場合

メインユニットの取扱説明書に1枚型CDの操作説明が記載されている場合は、そちらをご覧ください。

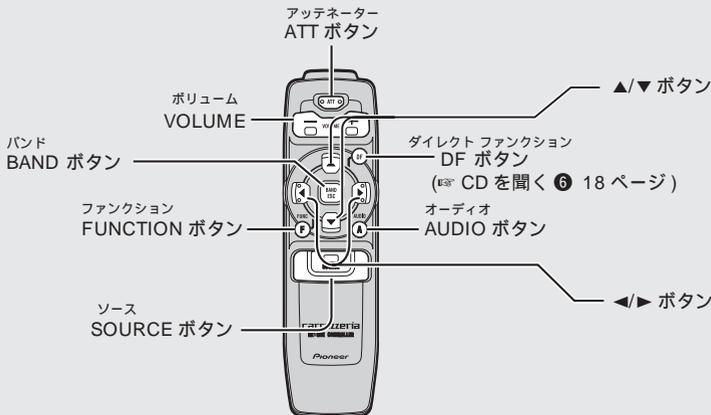
メインユニットのボタン名称 例：「MEH-P555」



リモコンのボタン名称 例：「CD-R660」

「MEH-P777/MEH-P9900/MEH-P7700」は、リモコンを付属しています。リモコンでの操作については、メインユニットの取扱説明書をお読みください。

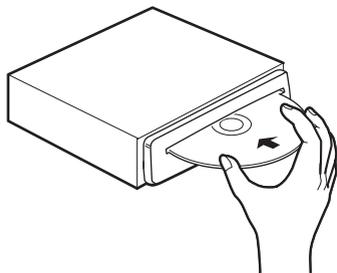
別売のステアリングリモートコントロールユニット「CD-SR80」(以下、ステアリングリモコン)で本機を操作することもできます。ただし、この場合は、一部ステアリングリモコンでは操作できない機能があります。ステアリングリモコンの操作のしかたや取り扱いについては、ステアリングリモコンの説明書をお読みください。



まず最初に、本機にCDをセットしてください。

1 CDをセットする

CDのタイトル面を上にして、CD挿入口に差し込む



自動的にCDがセットされ、再生を始めます。

ご注意

CDシングル (8 cm CD) もアダプターなしでセットできます。アダプターは絶対使用しないでください。

本機のディスプレイ
本機にCDがセットされているときに点灯します。



本機のCDを聞いているときに点灯します。

「MEH-P555」のディスプレイ

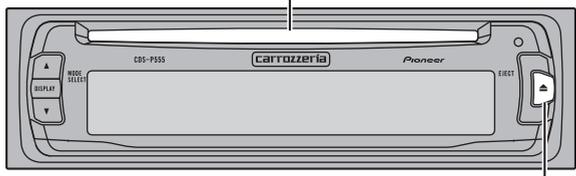


メモ

CD挿入口には、CD以外の物を絶対に入れないでください。故障の原因となります。

ここだけ読めば
すぐ使えます

CD 挿入口

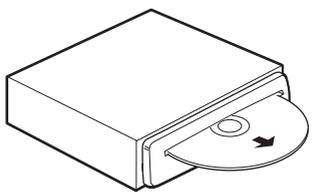


イジェクト
EJECT ボタン

2 CD を取り出す

▲ ボタンを押す

CDが出てきて、電源がOFFになります。



出てきたCDはすぐに取り出して、保管してください。

ここだけで CD のふだんの操作

曲を選ぶ 早送り/早戻しをする

ここだけの操作で、CD を聞くことができます。

チェック 最初に本機にCDをセットしてください。(☞ ここだけで ① 8 ページ)

1 ソースを 1 枚型 CD にする

SOURCE ボタンを押す

ボタンを押すごとにソースが切り換わります。1 枚型 CD になるまでボタンを繰り返し押ししてください。



CD の再生が始まります。

2 聞きたい曲を選ぶ (または早送り/早戻し)

◀または▶ ボタンを押す

- ▶ : 次の曲を選ぶとき (または早送り)
- ◀ : 前の曲を選ぶとき (または早戻し)



再生経過時間 曲番号

選局と早送り/早戻しの使い分け

聞きたい曲の選択	0.5 秒未満
曲の早送り/早戻し	0.5 秒以上押し 続けている間

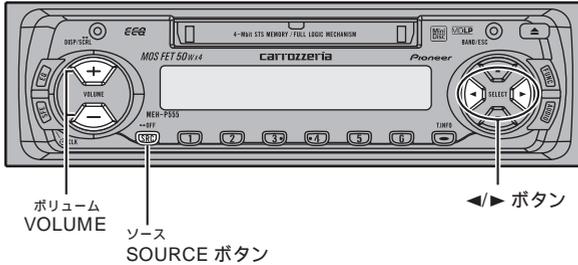
メモ

「MEH-P555」以外のメインユニットをお使いの場合は、「本機と組み合わせるメインユニットについて」(☞ はじめに ② 6 ページ)と、メインユニットの取扱説明書を参照して操作を行ってください。

音量を調節する

ソース切り換え / トラックサーチ / 早送り/早戻し / 音量調節

ここだけ読めば
すぐ使えます



3 音量を調節する

VOLUME ボタンを押す

- + : 大きくするとき
- : 小さくするとき



0~30の範囲で調整できます。

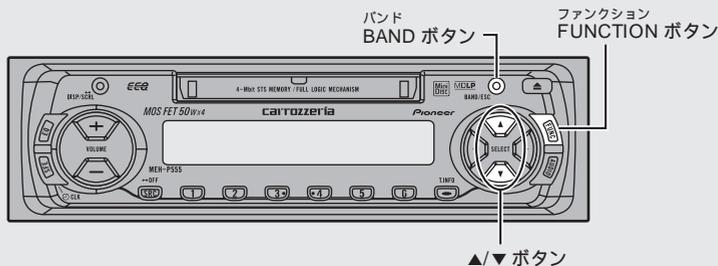
約4秒間、音量が表示されます。

4 CDの再生をやめる

SOURCE ボタンを押す

他のソースに切り換わります。

SOURCE ボタンを1秒以上押す
電源がOFFになります。



CDを聞く

1

モードの切り換えかた

ふだんの操作以外の便利な機能を使うときは、モードを切り換えて操作します。

ファンクションモードの切り換え

1 ファンクションモードを切り換える

FUNCTION ボタンを押す
ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

リピートモード (CDを聞く ②)

ランダムモード (CDを聞く ③)

スキャンモード (CDを聞く ④ 14 ページ)

ポーズモード (CDを聞く ⑤ 15 ページ)

リピートモードに戻る

メモ

ファンクションモードを解除するには、BAND ボタンを押します。(約30秒間、何も操作しなかったときも、自動的に解除されます。) メインユニットによっては、COMP 切り換えモードがある場合があります。そのメインユニットと組み合わせたときは、“NO COMP” と表示され、COMP の切り換えをすることができません。

メインユニット② (例: KEH-P555) の場合

ファンクションモードはありません。

詳細設定モードの切り換え

1 詳細設定モードにする

FUNCTION ボタンを2秒以上押す

2 詳細設定モードを切り換える

FUNCTION ボタンを押す
ボタンを押すごとに次のように切り換わります。

[タイトル入力モード]¹
(CDを聞く ⑥ 16 ページ)

[プログラムファンクション設定モード]²
(「MEH-P555」には、この機能はありません。)

タイトル入力モードに戻る

メモ

詳細設定モードを解除するには、BAND ボタンを押します。

¹ 別売のマルチCD (「CDX-P670」など) を接続していない場合、タイトル入力モードには切り換わりません。

² メインユニットによっては、プログラムファンクション設定モードがない場合があります。そのメインユニットを組み合わせたとときは、このモードには切り換わりません。

メインユニット② (例: KEH-P555) の場合

詳細設定モードはありません。

CDを聞く

2

同じ曲を繰り返し 聞く

リピート再生

今聞いている曲を繰り返し聞くことができます。

1 リピートモードにする

FUNCTION ボタンを押して選ぶ
( CD を聞く ①)



2 リピート再生をONにする

▲ ボタンを押す (▼ ボタンでOFF)



今聞いている曲を繰り返し再生します。

BAND ボタンを押して、ファンクション
モードを解除してください。



リピート再生中に表示されます。

メインユニット② (例: KEH-P555) の場合

RPT/RDM ボタンを押すごとに、リピート再生の
ON/OFF が切り換わります。

CDを聞く

3

いつもと違う曲順で 聞く

ランダム再生

選曲をCDプレーヤーにまかせて、いつもと違
う曲順 (ランダム) で再生することができます。

1 ランダムモードにする

FUNCTION ボタンを押して選ぶ
( CD を聞く ①)



2 ランダム再生をONにする

▲ ボタンを押す (▼ ボタンでOFF)



次の曲から、ランダムに選曲します。

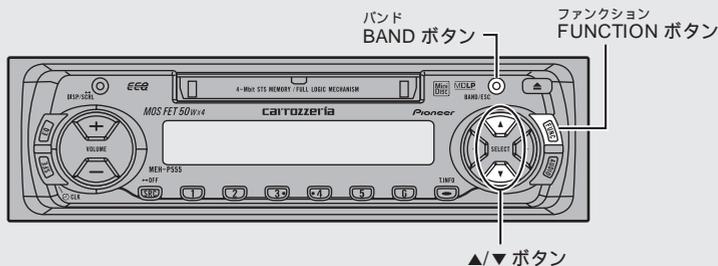
BAND ボタンを押して、ファンクション
モードを解除してください。



ランダム再生中に表示されます。

メインユニット② (例: KEH-P555) の場合

RPT/RDM ボタンを2秒以上押すごとに、ランダ
ム再生のON/OFF が切り換わります。



4 CDを聞く 聞きたい曲をさがす

スキャン再生

曲の始めの部分だけを、約10秒間ずつ次々に聞くことができます。

1 スキャンモードにする

FUNCTION ボタンを押して選ぶ
(CDを聞く 12 ページ)



2 スキャン再生を始める

▲ ボタンを押す



曲の始めの約10秒間が次々に再生されます。

スキャン再生を始めて約30秒たつと、自動的にファンクションモードが解除されます。



スキャン再生中に表示されます。

3 聞きたい曲が再生されたら スキャン再生をOFFにする

確認

ファンクションモードが解除されていたら、手順1の操作を行ってもう一度スキャンモードにしてから、スキャン再生をOFFにしてください。

スキャンモードのときに▼ボタンを押す



BAND ボタンを押して、ファンクションモードを解除してください。

メモ

スキャン再生を始めた曲まで戻るとスキャン再生は解除されます。

メインユニット[2] (例: KEH-P555) の場合

PAUSE/SCAN ボタンを2秒以上押しすごとに、スキャン再生のON/OFFが切り換わります。

CD再生を一時停止する

ポーズ

CD再生を一時停止することができます。

1 ポーズモードにする

FUNCTION ボタンを押して選ぶ

( CDを聞く ① 12 ページ)



2 CD再生を一時停止する

▲ ボタンを押す (▼ ボタンで再生)



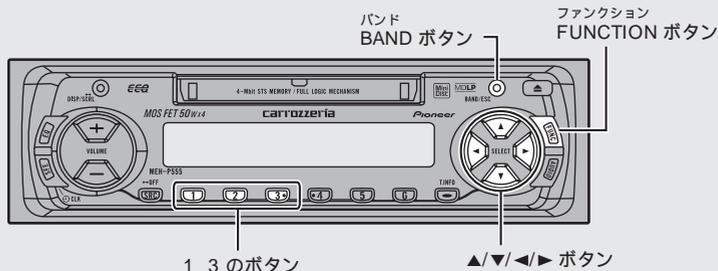
BAND ボタンを押して、ファンクションモードを解除してください。



一時停止中に表示されます。

メインユニット② (例: KEH-P555) の場合

PAUSE/SCAN ボタンを押すごとに、ポーズの ON/OFF が切り換わります。



6 CDを聞く CDのタイトルを記憶させる

タイトル入力

CDのタイトルを表示させる (CDを聞く 18 ページ) ために、あらかじめタイトルを記憶させておきます。

チェック 別売のマルチCD (「CDX-P670」など) を接続したときだけ使用できる機能です。

タイトル表示について

タイトル表示は、CDのタイトルを入力して記憶させておき、メインユニットのディスプレイに表示させる機能です。

タイトルは、別売のマルチCD (「CDX-P670」など) を接続すると、入力できるようになります。

タイトルは10文字まで入力できます。(組み合わせるメインユニットによっては、8文字しか入力できない場合があります。)

本機のタイトルは、マルチCDのタイトルおよびマルチCDのITSと合わせて、CD100枚分の記憶ができます。(マルチCDのタイトルおよびITSについては CD メインユニットの説明書)

100枚を超えたときは、いちばん古いCDの記憶が消されて、新しいCDが記憶されます。

タイトルの記憶は、CDごとに行われます。CDを取り出しても消えません。そのCDをマルチCDにセットしたときも、ディスプレイにタイトルを表示させることができます。

1 タイトルを入力したいCDを再生する

(CD ここだけで 8 ページ)

2 タイトル入力モードにする

FUNCTION ボタンを2秒以上押してから、FUNCTION ボタンを押して選ぶ

(CDを聞く 12 ページ)



約2秒間表示されます。

メモ

既に再生中のCDのタイトルが記憶してある場合は、そのタイトルが表示されます。

「CD TEXT」に対応しているマルチCDプレーヤー (「CDX-P670」など) で「CD TEXT」を再生しているときは、タイトル入力モードに切り換わりません。(「CD TEXT」に収録されているCDタイトルは変更できません。)

メインユニット 2 (例: KEH-P555) の場合

タイトル入力モードはありません。

3 タイトルを入力する

入力する文字を選ぶとき

▲または▼ボタンを押す

▲：次の文字を選ぶとき

▼：前の文字を選ぶとき



選んだ文字が点滅します。

入力する位置を選ぶとき

◀または▶ボタンを押して入力したい位置にカーソルを移動させる

▶：右に移動させるとき

◀：左に移動させるとき



10文字まで入力できます。

文字モードを選ぶとき ¹

押すボタン	選べる文字
1ボタン (1ボタンを押すごとに切り換わります。)	アルファベットの小文字 (a ~ z)、空白 (_) アルファベットの大文字 (A ~ Z)、数字 (0 ~ 9)、 記号 (!、#、&など) 空白 (_)
2ボタン	数字 (0 ~ 9)、 記号 (!、#、&など)、 空白 (_)
3ボタン (3ボタンを押すごとに切り換わります。)	カタカナ (ア～ン)、 ハイフン (-)、 空白 (_) 拗促音 (ア、ヨ、ツなど)、 濁点、半濁点、 空白 (_)

4 入力が終わったら 10文字目を点滅させる



余った場合は、空白を入力して、
10文字目を点滅させます。

5 入力したタイトルを記憶する

▶ボタンを押す



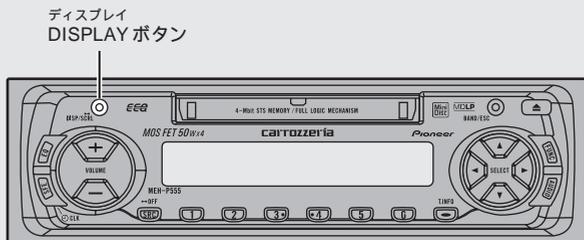
入力位置の点滅が終わり、入力した
タイトルが記憶されます。

BANDボタンを押して、詳細設定モード
を解除してください。

メモ

タイトル入力中 (文字が点滅しているとき) にBANDボタンを押すと、詳細設定モードが途中で解除されます。(この場合、入力中のタイトルは記憶されません。)

¹メインユニットによっては、文字モードが切り換えられない場合があります。

CDを聞く
7

CDのタイトルを表示させる

ディスクタイトル表示

タイトル入力 (☞ CDを聞く⑥ 16ページ) で入力したCDのタイトルを表示させることができます。

1 表示を切り換える

DISPLAY ボタンを押す
ボタンを押すごとに次のように切り換わります。
曲番号/再生経過時間表示



再生経過時間 曲番号

タイトル表示



入力したタイトル

曲番号/再生経過時間表示に戻る

メモ

タイトルが入力されていないCDで表示を切り換えると、「NO TITLE」が表示されます。

CDを聞く
8

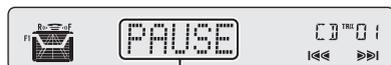
CD再生の一時停止を直接操作する

ダイレクトファンクション

リモコンのDFボタンを押すと、CD再生の一時停止を直接操作することができます。

1 再生を一時停止する。

リモコンのDFボタンを押す
(☞ はじめに④ 7ページ)



一時停止中に表示されます。

DFボタンを押して、一時停止を解除してください。

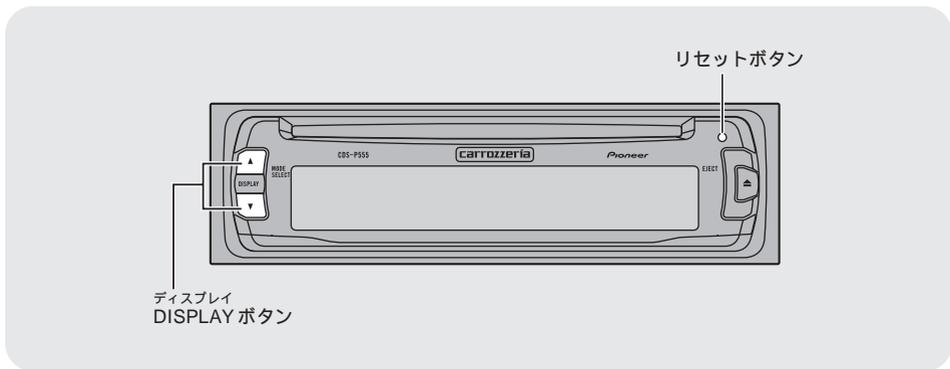
メモ

メインユニット (例: MEH-P9900/MEH-P7700/MEH-P5500など) の場合は、よく使う機能を、リモコンのPGMボタンに学習させることができます。操作方法については、メインユニットの取扱説明書「よく使う機能を学習させる」の「内蔵MDのとき」を参照してください。

メインユニット② (例: KEH-P555) の場合

ダイレクトファンクション機能は付いていません。

CDを聞く



その他
1

本機の表示を切り換える

表示切り換え

本機の表示には、モード1からモード8まで、8つの表示があります。それぞれの表示は、簡単に切り換えることができます。

1 表示を切り換える

DISPLAY ボタンを押す
ボタンを押すごとに次のように切り換わります。
モード1 (パワーメーター風表示)



モード2 (モード1+ピークバウンド表示)



モード3 (モード1+背景が流れるような表示)



モード4 (反転部分が移動)



モード5 (中央から扇状に広がる表示)



モード6 (点灯部分が回転しているような表示)



モード7 (ランダムに点灯)



モード8 (DISC SET, PLAY 表示以外 OFF)



モード1 (パワーメーター風表示) に戻る

本機のリセットについて

リセット

本機を初期設定状態に戻すことができます。

リセットボタンについて

リセットボタンを押すと、本機のマイコンが初期設定状態（ご購入直後の状態）に戻ります。次のようなときに、リセットボタンを押してください。

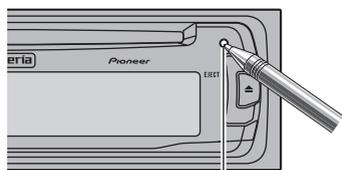
接続が終わった後。

本機が正しく動作しないとき。

ディスプレイが正しく表示されないとき。

1 本機をリセットする

ペン先などでリセットボタンを押す



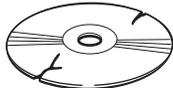
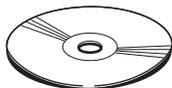
リセットボタン

使用できるCDについて

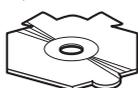
下記マークの付いているコンパクトディスク（光学式デジタルオーディオディスク）をご使用ください。



ひび、キズ、そのあるCDは使用しないでください。



特殊形状のディスクは、使用しないでください。故障の原因になります。



音楽用CDレコーダーで録音したもの以外のCD-Rディスクは、正常に再生できない場合があります。

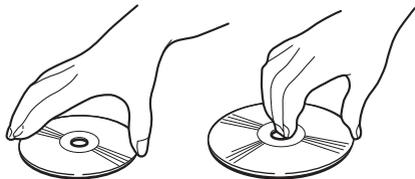
音楽用CDレコーダーで録音した音楽用CD-Rディスクでも、ディスクの特性やキズ・汚れ、または本機内部のレンズの汚れ・露などにより、本機では再生できない場合があります。

本機はCD-Rディスクのトラックスキップ機能に対応しています。スキップ指定された曲を飛ばして再生します。

CD-Rディスクの取り扱いについては、ディスクの説明書や注意書きを十分お読みください。

取り扱い上のご注意

CDは、下図のように、信号記録面（虹色に光っている面）をさわらないように持ってください。



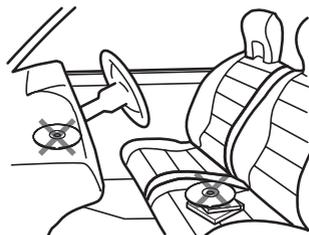
CDにキズを付けないでください。

CDにシールなどを貼り付けしないでください。



保管上のご注意

直射日光の当たるところや高温になるところには、CDを保管しないでください。



CDがそらないように、必ずケースに入れて保管してください。

メモ

製品設計上配慮していますが、機構上あるいは使用環境・ディスクの取り扱いなどにより、ディスク面に実用上支障のない程度のキズが付くことがあります。これは、製品の故障ではありません。一般的な消耗としてご理解ください。

お手入れについて

CDが汚れたときは、柔らかいきれいな布でCDの内周から外周方向へ軽くふいてください。



アナログ式レコード用のクリーナー、静電気防止剤などは使用しないでください。またベンジンやシンナーなどの揮発性の薬品をかけないでください。



当社では、CD用のクリーニングキット「JV-D11」を別売しています。カーステレオ販売店でお買い求めください。

CD再生の環境について

走行中、振動のショックで音飛びを起こすことがあります。

寒いとき、ヒーターを入れた直後にCD再生を始めると、本機内部の光学系レンズやCDに露が生じて、正常な再生ができないことがあります。

このようなときは、1時間ほど放置して自然に露がとれるのをお待ちください。CDに付いた露は柔らかい布でふいてください。

故障かな？と思ったら

故障かな？と

思ったら
修理を依頼される前に、
次の表の内容をチェック
してください。

チェックしても

直らないときは
本機をリセットしてくだ
さい。(☞ その他② 21
ページ)

それでも

直らないときは
保証書とアフターサービ
ス (☞ その他⑥ 26ページ)
をお読みになり、修理を
依頼してください。

共通項目

症 状	原 因	処 置
電源が入らない。 動作しない。	各リード線やコネクターが 正しく接続されていない。	正しく確実に接続されているかどうか、 もう一度確認してください。 (☞ 取付説明書)
	ヒューズが切れている。	ヒューズが切れた原因を解決し、切れた ヒューズを同じ容量のものとの交換してく ださい。(☞ 取付説明書)
音が出ない。 音が小さい。	メインユニットの音量を下 げている。	メインユニットの音量を上げてください。
表示が動かない。 表示の動きが小さい。	スピーカーリード線が正し く接続されていない。	正しく確実に接続されているかどうか、 もう一度確認してください。 (☞ 取付説明書)
	メインユニットのフェーダー 調整がリアになっている。	メインユニットのフェーダー調整をフロ ントに設定してください。

CD

症 状	原 因	処 置
CD再生中、大きな雑音が出 る。 CDの再生が途中で止まる。 CDが自動的に出てくる。	CDに大きなキズやそりがある。	他のCDと交換してください。良くなれば CDの不良です。
	CDが極端に汚れている。	CDの汚れをふき取ってください。 (☞ その他③ 23ページ)
	CDに曇りや水滴が付いて いる。	CDの曇りや水滴をふき取ってください。 (☞ その他③ 23ページ)
	CDの裏表を逆にしてセッ トしている。	CDのタイトル面を上にしてセットして ください。(☞ ここだけで① 8ページ)

こんなメッセージが表示されたら

CDを正常に再生できないときは、メインユニットのディスプレイにエラーメッセージが表示されます。

メッセージ (エラー番号)	メッセージが表示されるとき	処 置
「ERROR-11」「ERROR-12」 「ERROR-17」「ERROR-30」	CDが汚れているとき。	CDの汚れをふき取ってください。 (<small>☞</small> その他④ 23ページ)
	CDにキズやひびがあるとき。	CDを交換してください。
「ERROR-14」	追記型CD (CD-R) を録音しないまま使用しているとき。	追記型CD (CD-R) は、録音してからお使いください。
「ERROR-10」「ERROR-11」 「ERROR-12」「ERROR-14」 「ERROR-17」「ERROR-30」 「ERROR-A0」	電気系、機構系の故障が考えられるとき。	車のエンジンスイッチを一度OFFにしてからONにするか、CD再生を一度やめてから、もう一度CD再生にしてください。
「ERROR-44」	すべての曲がトラックスキップ指定されているとき。	CDを交換してください。
「HEAT」	本機の内部温度が高いとき。	内部温度が下がるまでお待ちください。

保証書

保証書は、ご購入年月日、販売店名などが記入されていることをお確かめのうえ、ご購入の際に販売店より受け取ってください。

保証書に記入もれがあったり、保証書を紛失したりすると、保証期間中でも保証が無効となります。記載内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。

保証期間

この製品の保証期間は、お買い上げの日より1年間です。

保証期間中の修理について

万一、故障が生じたときは、保証書に記載されている当社保証規定に基づき修理いたします。お買い上げの販売店またはお近くのパイオニアサービスステーションにご連絡ください。所在地、電話番号はメインユニットに付属の「ご相談窓口・修理窓口のご案内」をご覧ください。

保証期間経過後の修理について

お買い上げの販売店またはお近くのパイオニアサービスステーションにご相談ください。修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

補修用性能部品の最低保有期間

当社は、本機の補修用性能部品を、製造打ち切り後最低6年間保有しています。(性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。)

ご質問、ご相談は

本機に関するご質問、ご相談はパイオニアカスタマーサポートセンターまたはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

CD プレーヤー部

形式	: コンパクトディスク オーディオシステム
使用ディスク	: コンパクトディスク
信号	フォーマット : サンプリング周波数 : 44.1 kHz 量子化ビット数 : 16ビット直線
周波数特性	: 5 ~ 20,000 Hz (± 1 dB)
S/N	: 94 dB (1 kHz) (IHF-A ネットワーク)
ダイナミック	レンジ : 92 dB (1 kHz)
チャンネル数	: 2 (ステレオ)

共通部

使用電源	: DC 14.4 V (10.8 ~ 15.1 V 使用可能)
アース方式	: マイナスアース方式
最大消費電流	: 1 A
外形寸法	(取付寸法) : 178 (W) × 50 (H) × 153 (D) mm (ノーズ寸法) : 170 (W) × 46 (H) × 15 (D) mm
質量	: 1.2 kg

付属品

取付ネジ類	: 1 式
取扱説明書	: 1
取付説明書	: 1
安全上のご注意	: 1
保証書	: 1

メモ

上記の仕様および外観は予告なく変更することがあります。また、この説明書の中のイラストと実物が、一部異なる場合があります。



この説明書の印刷には、植物性大豆油インキを使用しています。

お客様ご相談窓口 (全国共通フリーフォン)

カスタマーサポートセンター

カーオーディオ / カーナビゲーション商品のお問い合わせ窓口

 0070-800-8181-11

カタログのご請求窓口

 0070-800-8181-33

< ご注意 > PHS、携帯電話、自動車電話、列車公衆電話、船舶電話、ピンク電話、および海外からの国際電話ではご利用になれません。あらかじめご了承ください。
修理に関しては、別添えの『ご相談窓口・修理窓口のご案内』をご参照ください。

ホームページでのカタログ請求とメールサービス登録のご案内
<http://www.pioneer.co.jp/support/ctlg.html>

パイオニア株式会社

〒153-8654 東京都目黒区目黒 1-4-1

この説明書は、再生紙を使用しています。

© パイオニア株式会社 2001

<KSNZF/01A00000 > <CRA3122-B >